



TOKYO'S CUP 2019

帆走指示書

(SAILING INSTRUCTIONS)

J S A F 加盟団体 外洋東京湾

1. 適用規則

- 1.1 セーリング競技規則(2017-2020)と本大会レース公示及び本大会レース帆走指示書。
- 1.2 レース公示と帆走指示書の間で矛盾が生じた場合は帆走指示書が優先される。

2. 責任の所在

- 2.1 艇と乗員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは、所有艇が十分に艀装され、かつ必要な耐航性を保ち、荒天の海にも適した経験豊かなクルーを乗り組ませるように全力を尽くさなければならない。オーナーは艇体、スパー、リギン、セール及び全ての備品を確実に整備し、備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と格納場所を全ての乗員に熟知させておかなければならない。
- 2.2 参加艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かは、全て各艇の責任のみで決定される。
- 2.3 各レースに於いて主催、後援、協賛、運営、協力に関する団体等はレース参加艇の乗員及び艇体の安全について、なんら責任を負うものではない。

3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更を行なう場合は、後記の指示書 8 に明記した日時までに行う。
- 3.2 海上において変更する場合には本部船に L 旗を掲揚して口頭によって行われる。

4. トウキョウス・カップ安全規定

- 4.1 乗員分のセーフティハーネスとテザーを搭載するものとする。【D P】
- 4.2 艇名はわかりやすく艇体に明記されていること。【D P】
- 4.3 全ての乗員はライフジャケットを着用しなければならない。【D P】

5. コース

三浦半島 小網代沖 小網代浮標付近スタート
 伊豆大島 岡田港沖 フィニッシュ (フィニッシュ図参照)
 暫定距離 約 25 マイル

6. レース旗

- | | | |
|-----|-------------|-------|
| 6.1 | I R C クラス | オレンジ旗 |
| 6.2 | クルージングクラス | グリーン旗 |
| 6.3 | クルーザーデヴィジョン | ブルー 旗 |

7. レース旗の掲揚

- 7.1 参加艇は、各レース旗をバックステイに海上出艇確認時からフィニッシュまで掲げていること。【D P】
- 7.2 バックステイの無い艇に付いてはスターボード側のステイに掲げ、レース旗の下端がデッキ上 1.5m 以上に掲げること。【D P】

8. 競技者への通告 (公式掲示板)

- 8.1 公式掲示板は8月8日 (木) 09:00~8月10日 (土) 20:00まで外洋東京湾のホームページ上に設置する。
- 8.2 レース公示や帆走指示書のネット上の変更は外洋東京湾ホームページに8月10日 (土) 20:00までに掲示されて有効とする。ただし、見ることが出来なかった等の理由で抗議、救済の対象にはならない。

外洋東京湾 <https://jsaf.tokyo>

9. スタート予定時刻及び信号

【8月11日(日) 全艇一斉スタート】

予告信号 07:55 5分前

(オレンジ旗・グリーン旗・ブルー旗掲揚) 音響1声

準備信号 4分前

(P旗又はI旗、Z旗、I旗とZ旗、又は黒色旗掲揚) 音響1声

1分前

(準備信号旗降下) 長音1声

スタート

(オレンジ旗・グリーン旗・ブルー旗降下) 音響1声

10. スタートライン

- 10.1 三浦半島小網代沖に位置する外洋東京湾クラブ旗を掲揚した本部船 (艇名プレアデス) と小網代浮標との間とし、本部船を右舷に見てスタートする。スタート信号は本部船より発せられる。

- 10.2 スタートを延期する場合にはA P旗を掲揚し、音響信号2声が発せられる。
- 10.3 延期された新しいスタートの予告信号はA P旗降下後1分後に音響信号と共に発せられる。
- 10.4 スタートラインはスタート信号20分後に消滅する。(RRS附則A4の変更)

11. リコール

- 11.1 リコール艇があった時は、音響信号1声を発し、X旗を掲げる。
- 11.2 ゼネラルリコールの場合、音響信号2声を発し、第1代表旗を掲げる。次の新しいスタートは第1代表旗降下(音響信号1声)の1分後に予告信号が発せられる。

12. フィニッシュライン

- 12.1 伊豆大島岡田港沖フィニッシュ。
- 12.2 フィニッシュラインは、岡田港棧橋付け根の海水浴場から北東方向に200～250m伸びる仮想フィニッシュラインとする。岡田港岸壁を右舷に見てフィニッシュする。(フィニッシュ図参照)
- 12.3 フィニッシュする艇は約30分前に規則25.2に基づき岡田港フィニッシュ本部にVHF74チャンネルか電話連絡すること。【DP】

13. タイムリミット

- 13.1 全艇8月11日(日)16:30とする(RRS35の変更)。
- 13.2 ゼネラルリコール等でスタートが遅れても、全艇のタイムリミットは変更しない。

14. エンジンの使用

- 14.1 落水者救助、遭難艇(船舶)救助、他の船舶との衝突回避(緊急避難)、離礁その他緊急かつ切迫した事態に対応するためにエンジンを使用することができる。(RRS42.3(h))
- 14.2 エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的・時間・場所等)について、フィニッシュ後外洋東京湾事務局にエンジン使用報告書をメールで8月12日(月)24:00までに報告しなければならない。
外洋東京湾 tkcup@jsaf.tokyo
- 14.3 クルーザーデヴィジョンの艇は、スタート後2時間以降はエンジンを使用することが出来る。この場合、エンジン使用報告書は必要ない。

15. 出艇申告

- 15.1 艇長会議での申告をもって出艇申告とする。スタート当日の出艇申告は行わない。
- 15.2 艇長会議以降の乗員の変更に関して、8月11日（日）06:00までに外洋東京湾のE-MAILアドレスへ変更届を提出する。

外洋東京湾 tkcup@jsaf.tokyo

16. 海上出艇確認

参加艇は、スタート海面到着後、出艇の最終確認として、外洋東京湾クラブ旗及びL旗を掲げた本部船から、デッキ上で乗員全員がライフジャケットとセーフティハーネスとテザーを着用して、セールナンバー及び艇名の確認をスタート予定時刻の15分前までに受けること。【DP】

17. 帰着申告

- 17.1 参加艇は、フニッシュをもって帰着申告とする。
- 17.2 リタイヤした艇、またフィニッシュしない艇は16:30までに岡田港フニッシュ本部に電話連絡すること。【DP】

18. レース艇の義務

- 18.1 出艇申告したがスタートしない艇は、岡田港フィニッシュ本部に16:30までに必ず連絡すること。【DP】
- 18.2 レース中事故等があった場合は、至急、118番、及び岡田港フニッシュ本部に連絡を行うこと。

19. 成績の算出

- 19.1 レース委員会が決めたレーティングにより計算する。
- 19.2 同修正時間の場合はレーティングの低い艇を上位とする。
- 19.3 リザルトは外洋東京湾のホームページにUPすると共に舵誌に掲載する。

20. 抗議

- 20.1 抗議の意思のある艇はフィニッシュ時に岡田港フィニッシュ本部にその旨を報告しなければならない。
- 20.2 抗議の意思のある艇は抗議の要件を、フィニッシュ後2時間以内に外洋東京湾E-mailアドレスに送ること。
- 20.3 審問の時間、場所については抗議書を受理した後、当該関係艇に連絡する。

21. ペナルティー方式

- 21.1 セーリング競技規則第2章の規則違反についてはRRS44.2に基づき「2回転ペナルティー」を適用する。

- 21.2 RRS 29、30に係わる規則違反については、所要時間の5%をタイムペナルティーとして課す。
- 21.3 帆走指示書に【DP】表記のある項と上記21.1、21.2以外の規則違反については、審問の上、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することが出来る。

22. インспекション

レース委員会はレース参加艇がスタート前、スタート後、いつでもインспекションを行なう権限を有し、規則違反の艇や、著しく安全性を欠く場合は抗議の対象となる。

23. 通信手段（全ての参加艇）

- 23.1 通信手段として、防水(ビニール等のケースにいれた)携帯電話を2台(2系統)所持し常に通信可能状態にしておくこと。【DP】
- 23.2 大会本部に携帯電話番号を届けでること。【DP】
- 23.3 国際VHFの所持と常時74チャンネルのワッチを強く推奨する。

24. 表彰式

12月のJSAF関東外洋4団体の年間表彰式・クリスマスパーティーで表彰する。

25. レース委員会所在地・連絡先

- 25.1 小網代沖スタート本部船（スタート時）
電話番号 090（4940）4726
- 25.2 岡田港フィニッシュ本部（岡田港防波堤先端の白灯台下）
電話番号 080（6513）3724

26. 海上保安庁 連絡先

緊急電話番号 118

以上